

3 CHECK 特定C

3 CHECK 特定の目的を持った会計

特別会計は、医療や介護にかかる費用が多くなればなるほど町の負担も増え、一般会計を圧迫する仕組みとなっています。

会 計 名	決 算 額		歳入歳出差引額	前年度比
国 民 健 康 保 険 特別会計	歳入	3 億 9853 万円	182 万円	△ 2.2%
	歳出	3 億 9671 万円		△ 0.7%
介護保険特別会計	歳入	6 億 4846 万円	4125 万円	1.4%
	歳出	6 億 721 万円		△ 0.7%
後期高齢者医療保険 特別会計	歳入	5381 万円	19 万円	△ 2.1%
	歳出	5362 万円		△ 2.0%
簡易水道特別会計	歳入	7494 万円	—	△ 22.1%
	歳出	7494 万円		△ 22.1%
公 共 下 水 道 事 業 特別会計	歳入	1 億 5806 万円	300 万円	7.1%
	歳出	1 億 5506 万円		5.1%
農業集落排水事業 特別会計	歳入	3820 万円	—	0.1%
	歳出	3820 万円		0.1%

4 CHECK 家計

4 CHECK 家計のやりくり度をチェック！

4つの指標のうち、1つでも国が定めた基準を超えた自治体は「財政再生団体」または「健全化団体」となりますが、日野町はすべての指標で基準を下回っています。

Temperature	Percentage (%)
H29	11.6
H30	8.5
R1	7.0

	財政再生基準	早期健全化基準	日野町
実質赤字比率	20%以上	15%以上	—
連結実質赤字比率	30%以上	20%以上	—
実質公債費比率	35%以上	25%以上	7.0%
将来負担比率	—	350%以上	—

将来負担比率 … 各自治体が将来負担すべき負債が、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す指標です。

5 CHECK いざという時の備えに。

しかし、老朽化した公共施設の修繕や改修、そしていつ災害などに見舞われるかわかりません。町の公共施設の長寿命化を図る町公共施設等長寿命化基金や財政推計をもとに、今後も長期的な計画に基づき基金を積み立てながら、効果的な基金の活用を図ります。

年度	財政調整基金	減債基金	その他の基金	特別会計	合計
H29 (平成29年度)	1571	236	303	133	2243
H30 (平成30年度)	1566	236	445	158	2405
R1 (令和1年度)	1566	236	460	170	2432

※平成29年度より、その他の基金に「公共施設等長寿命化基金」が含まれています。

☑ 令和元年度の主な事業

事業名	実施内容	
町制施行 60 周年 記念事業	昭和 34 年に日野町制が施行され、昨年度、日野町が誕生して 60 年を迎えました。記念式典をはじめ、さまざまなイベントを実施しました。 ●町制施行 60 周年記念式典 表彰者 13 人 7 団体、感謝状贈呈者 5 人 5 団体 日野町誌続編お披露目、町公認キャラクター「しいたん」の発表 ●町勢要覧の作成、滝山公園にて記念植樹、チャンネルひの特別番組など	
庁舎空調設備更新 事業	平成 5 年の庁舎竣工以来 26 年が経過し、老朽化が進んでいた庁舎の空調設備を全面改修しました。	▲町制施行 60 周年記念式典。まちづくりや地域活性化などで功績があった個人や団体へ表彰などを行いました。
防災基地整備事業	災害発生時に、災害応急対策活動を行うヘリコプターの集結力、機動力を最大限に発揮するために、防災基地（中菅）を整備。最大 3 機が離発着することができる基地を整備したことで、災害時の活動範囲および情報収集・救助能力などが向上し、住民の生命・財産・安心安全な暮らしを守るための防災力が強化されました。	
防災行政無線デジ タル化事業	防災行政無線の更新（デジタル化）にかかる施設の実施設設計を行いました。設計書をもとに防災行政無線の更新工事を令和 2 年度に実施し、引き続き地域住民に適切な防災関連情報などの提供を行います。更新工事に伴い、戸別受信機の交換も予定しています。	
移住定住・空き家 対策事業	町内に点在する空き家の利活用を図るため、移住者向けに空き家改修費用や家財道具処分費用の助成を行いました。加えて、U ターン者・I ターン者などの住宅整備への補助や、町内の小中学校に通う児童を扶養する保護者にあゆ奨学金の支給など、移住定住しやすい環境を整えました。また、移住希望者に日野町での生活体験を通し移住につなげるため、お試し住宅を活用したほか、独身の男女に出会いの場を提供するための婚活イベントを実施しました。	
金持テラスひの管理	施設内に賑わいづくりコーディネーターを配置し、「町文化展」「福よせ雛」「海鮮・山鮮まげなもん祭」など、展示やイベントなどを開催。運営体制の確立とスムーズな企画運営ができました。	
いきいき百歳体 操・かみかみ百歳 体操事業	健康寿命を伸ばし、生きがいくつくと介護予防を図るため、いきいき百歳体操・かみかみ百歳体操の取り組みを推進しました。	
鳥獣被害対策事業	侵入防止柵などの設置や、イノシシ・ニホンジカなどの有害鳥獣を捕獲し、農作物被害の低減を図りました。また、日野郡鳥獣被害対策協議会の活動を支援するとともに、研修会や農作物被害相談、侵入防止柵設置指導などを通し、地域の被害防止対策に対する意識向上が図られました。	
しいたけ生産振興 対策事業	シイタケ生産拡大を推進するため、町内の生産者を支援。町の特産品であるシイタケの生産体制の向上が図られました。	 ▲町制 60 周年を記念して発刊した「日野町誌 続編」
町史編さん事業	「日野町誌 続編」を発刊し、改めて地域の宝や魅力の共有化が図られました。	
根雨地区浸水対策 事業	根雨地区の雨水を安全に河川へ放流するための浸水対策事業を、令和元～2 年度の 2 カ年で行います。令和元年度は雨水排水路設置に向けて、基本設計が完了しました。	
日野高校魅力向上事 業	日野高校魅力向上コーディネーターを 2 人配置し、他県の魅力向上事業の視察を行い、日野高生サポーター制度など日野高校での制度づくりができました。また、地域みらい留学フェスタに参加し、幅広く県外生への呼びかけにも取り組み、令和元年度末の入試では、県外から 3 人の受験があり、全員が入学しました。	
高校生等就学支援 事業	経済的事情などにより進学、修学に支障をきたすことなく、自らの適性に合った進路を選択し、意欲的に学業に専念できるよう支援することを目的に、町内に住所を有する高校生などの保護者に、奨学金を給付しました。	
町公民館空調設備 改修事業	町公民館の空調設備の改修を実施。おしどり学園など、生涯学習の場として快適な教育空間が提供できたほか、避難所としての機能の保全にも努めました。	